

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

2) 基本構成図 ロッキング構法 改訂のご案内

本ページ(P269)は、一部改訂のため、次ページ(P269-2)に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

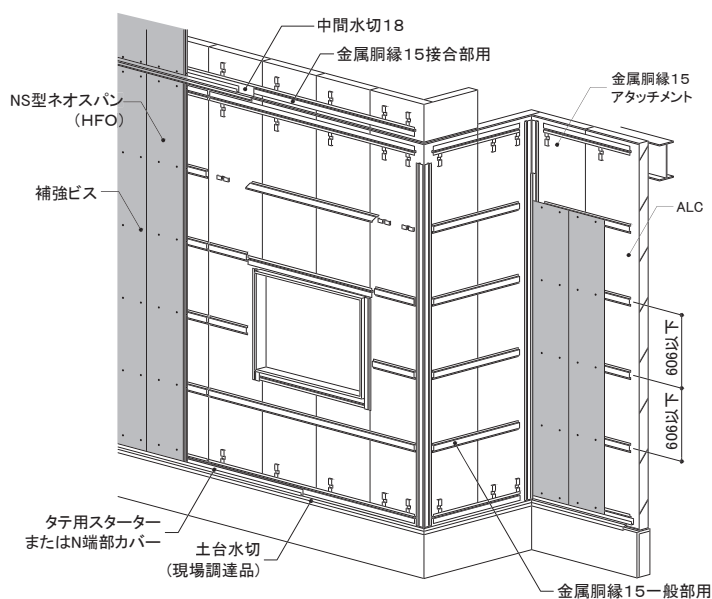
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

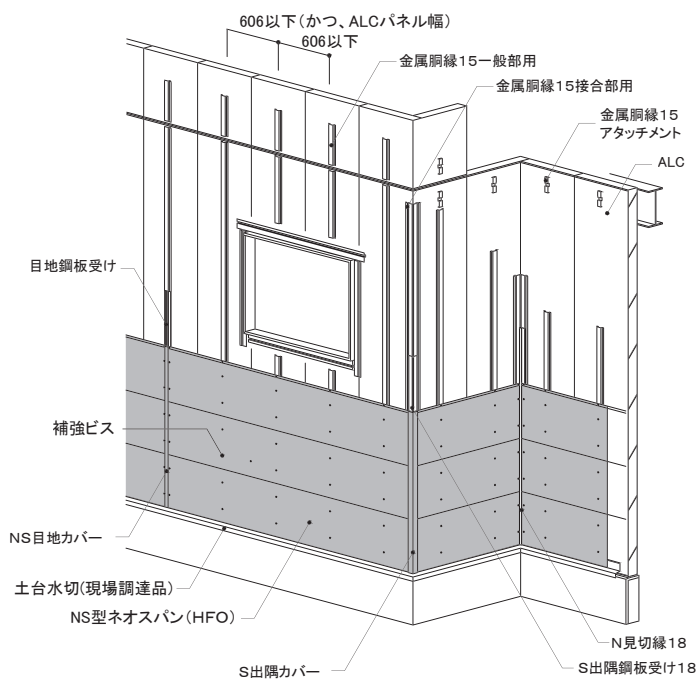
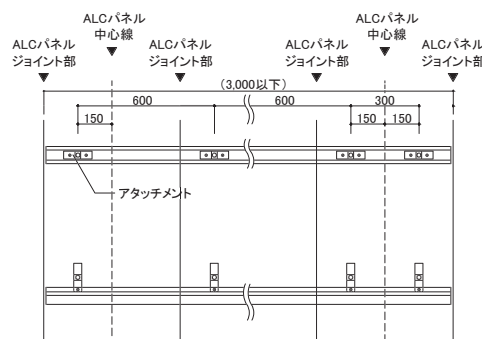
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

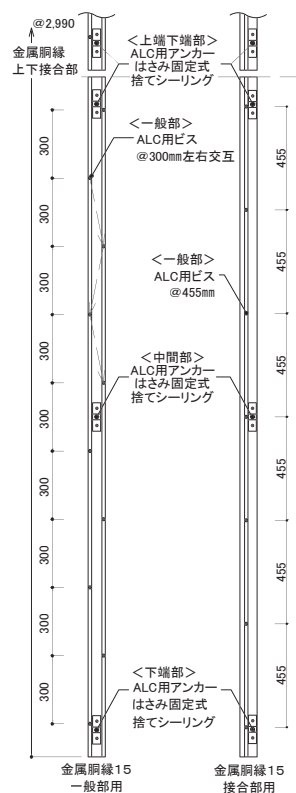
補強ビス留付指定位置 ビス留めの位置は必ず遵守ください。



縦張り施工



横張り施工



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法